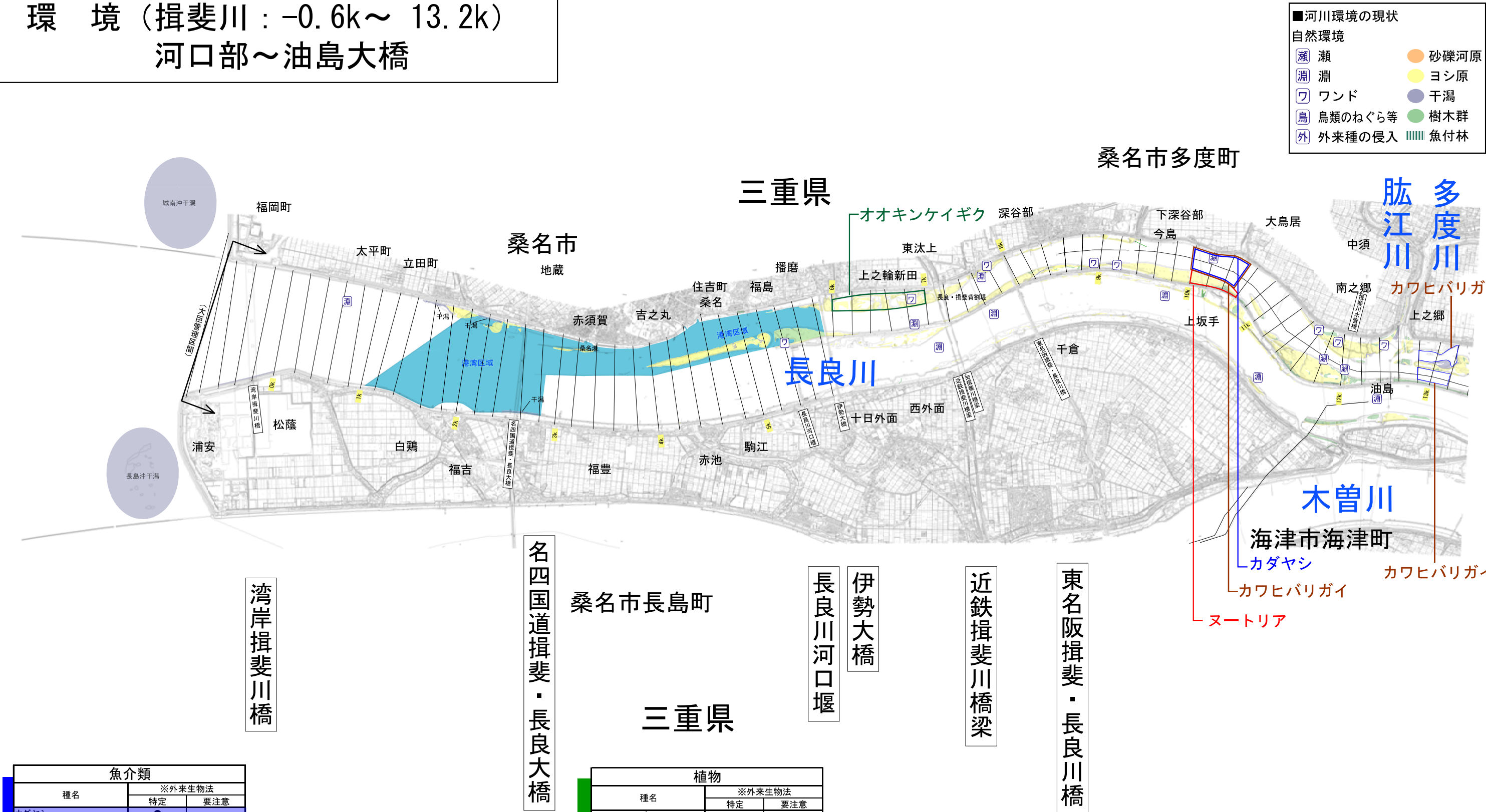


環境（揖斐川：-0.6k～ 13.2k）
河口部～油島大橋



魚介類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
カダヤシ	●	

底生動物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
スクミリンゴガイ		●(注意)
カワヒバリガイ	●	

両生類・爬虫類・哺乳類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ミシシippアカミミガメ		●(検討)
ヌートリア	●	

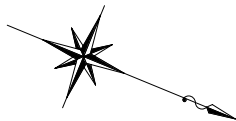
鳥類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ドバト		

昆虫類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
モンシロチョウ		
シバツトガ		
ミスジキロ TENTOU		
アルファルファタコゾウムシ		

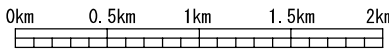
植物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
メマツヨイグサ		●(不足)
コマツヨイグサ		●(不足)
ヘラオオバコ		●(不足)
アメリカセンダングサ		●(不足)
コセンダングサ		●(不足)
オオアレチノギク		●(不足)
オオキンケイギク	●	
ヒメムカシヨモギ		●(不足)
ハルジオン		●(不足)
ブタナ		●(不足)
セイタカアワダチソウ		●(検討)
ヒメジョオン		●(不足)
コカナダモ		●(検討)
メリケンカルカヤ		●(不足)
シナダレスズメガヤ		●(総合)
オニウシノケグサ		●(総合)
メリケンガヤツリ		●(不足)
なお、外来生物法の指定以外の外来種は49種		

※表のハッチングは特定外来生物を示す。

※データは河川水辺の国勢調査の植物が平成14年度、魚介類が平成16年度、底生動物が平成16年度、昆虫類が平成13年度、両生類・爬虫類・哺乳類が平成15年度、鳥類が平成17年度を記載。

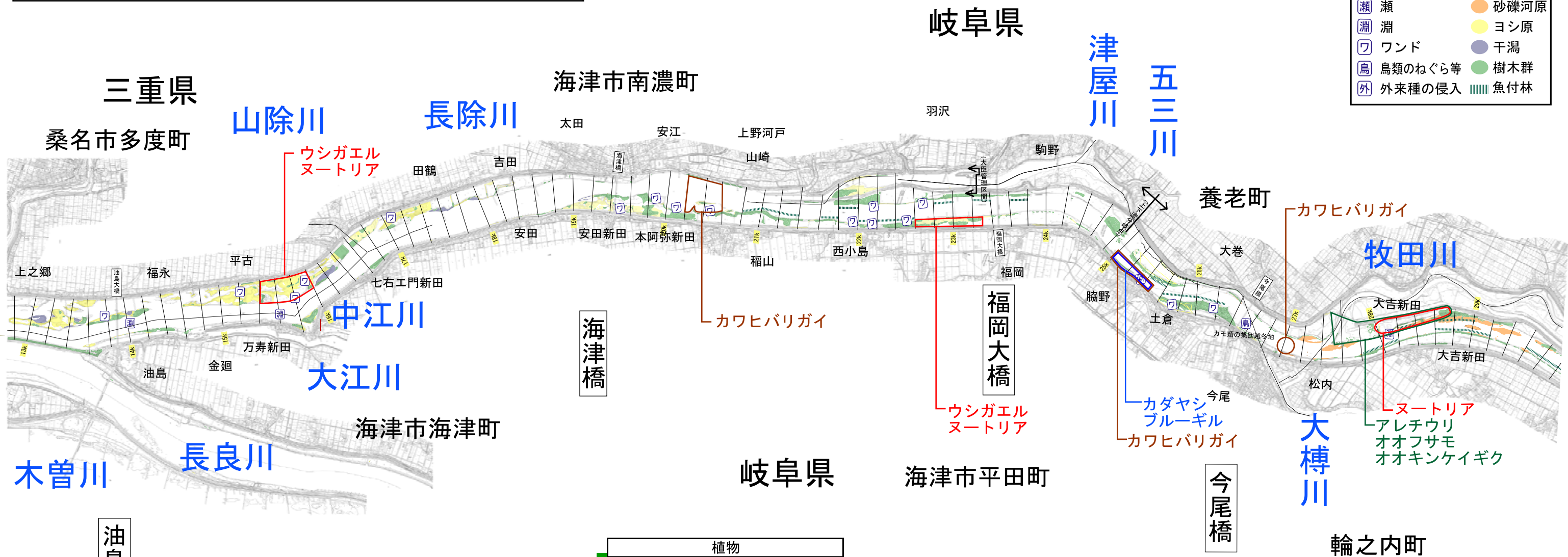


1 : 20,000



県・市町村界

環境（揖斐川：12.8k～29.8k） 油島大橋～今尾橋



魚介類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
タイリクバラタナゴ		●(検討)
ブルーギル	●	
カダヤシ	●	

底生動物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
スクミリンゴガイ		●(注意)
サカマキガイ		
カワヒバリガイ	●	

両生類・爬虫類・哺乳類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ウシガエル	●	
ミシシippiacamigame		●(検討)
ヌートリア	●	

昆虫類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
カンタン		
アオマツムシ		
モンシロチョウ		
コルリアトキリゴミムシ		
シロテンハナムグリ		
ミスジキロテントウ		
アルファルファタコソウムシ		
セイヨウミツバチ		

鳥類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
コジュケイ		
ドバト		

植物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
エゾノギンギシ		●(不足)
オランダガラシ		●(不足)
ハリエンジュ		●(総合)
アレチウリ	●	
メマツヨイグサ		●(不足)
コマツヨイグサ		●(不足)
オオフサモ	●	
オオフタバムグラ		●(不足)
アメリカネナシカズラ		●(不足)
ヘラオオバコ		●(不足)
ブタクサ		●(不足)
オオブタクサ		●(検討)
アメリカセンダングサ		●(不足)
コセンダングサ		●(不足)
オオアレチノギク		●(不足)
オオキンケイギク	●	
ヒメムカシヨモギ		●(不足)
ハルジオン		●(不足)
セイタカアワダチソウ		●(検討)
ヒメジョオン		●(不足)
オオオナモミ		●(不足)
オオカナダモ		●(検討)
コカナダモ		●(検討)
ホテイアオイ		●(検討)
キショウブ		●(不足)
メリケンカルカヤ		●(不足)
シナダレスズメガヤ		●(総合)
オニウシノケサ		●(総合)
キシュウスズメノヒエ		●(総合)
メリケンガヤツリ		●(不足)
なお、外来生物法の指定以外の外来種は77種		

※表のハッチングは特定外来生物を示す。

※データは河川水辺の国勢調査の植物が平成14年度、魚介類が平成16年度、底生動物が平成16年度、昆虫類が平成13年度、両生類・爬虫類・哺乳類が平成15年度、鳥類が平成17年度を記載。



1 : 20,000

県・市町村界 0km 0.5km 1km 1.5km 2km

環境（揖斐川：29.6k～46.0k） 福東大橋～鷺田橋

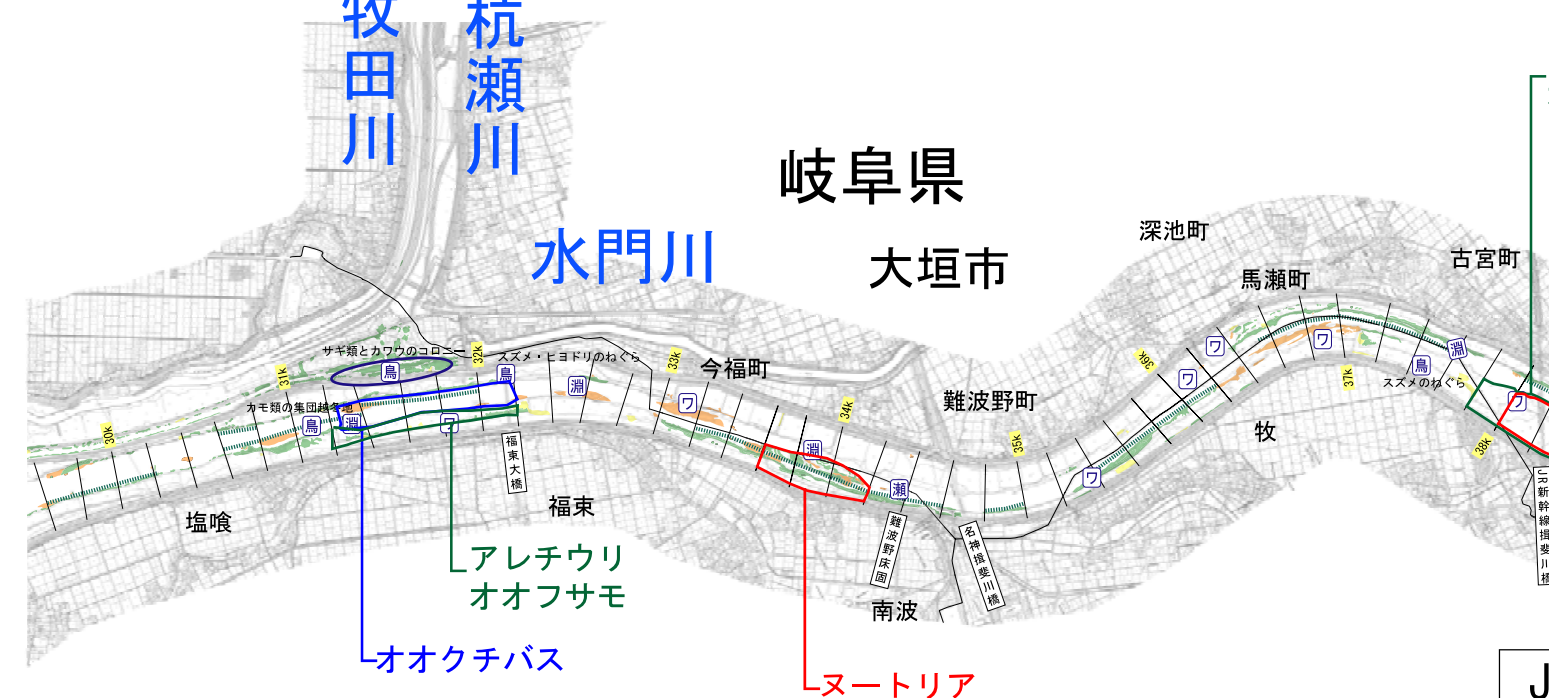
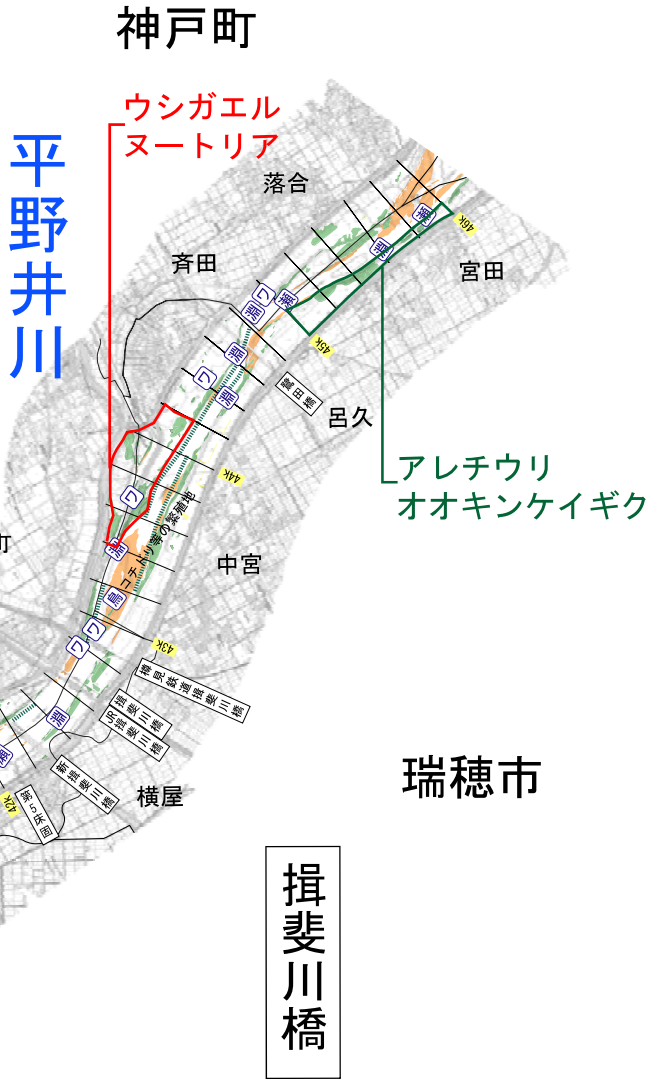
魚介類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
タイリクバラタナゴ		●（検討）
オオクチバス（ブラックバス）	●	
カムルチー		●（不足）
アメリカザリガニ		●（検討）

底生動物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
サカマキガイ		
アメリカザリガニ		●（検討）

両生類・爬虫類・哺乳類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ウシガエル	●	
ハツカネズミ		
ヌートリア	●	
アライグマ	●	

昆虫類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ネギアザミウマ		
モンシロチョウ		
シバツグ		
シロテンハナムグリ		
ハラジロカツオブシムシ		
ベタリアテントウ		
フタゲホソヒラタムシ		
ヒラタコクヌストモドキ		
アルファルファタコゾウムシ		
セイヨウミツバチ		

鳥類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ドバト		



植物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
エゾノギシギシ		●（不足）
オランダガラシ		●（不足）
ハリエンジュ		●（総合）
ムラサキカタバミ		●（不足）
アレチウリ	●	
メマツヨイグサ		●（不足）
コマツヨイグサ		●（不足）
オオフサモ	●	
アメリカネナシカズラ		●（不足）
ワルナスビ		●（不足）
ヤセウツボ		●（不足）
ヘラオオバコ		●（不足）
ブタクサ		●（不足）
オオブタクサ		●（検討）
アメリカセンダングサ		●（不足）
コセンダングサ		●（不足）
オオアレチノギク		●（不足）
オオキンケイギク	●	
ヒメムカシヨモギ		●（不足）
ハルジオン		●（不足）

植物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
セイトカアワダチソウ		●（検討）
オオアワダチソウ		●（不足）
ヒメジョオン		●（不足）
オオオナモミ		●（不足）
オオカナダモ		●（検討）
コカナダモ		●（検討）
キシウブ		●（不足）
メリケンカルカヤ		●（不足）
カモガヤ		●（総合）
シナダレスズメガヤ		●（総合）
オニウシノケグサ		●（総合）
キシウスズメノヒエ		●（総合）
メリケンギャツリ		●（不足）
なお、外来生物法の指定以外の外来種は88種		

名神揖斐川橋

岐阜県

JR新幹線揖斐川橋

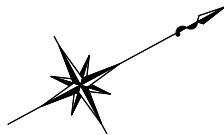
安八町

揖斐川大橋

河川環境の現状	
自然環境	
瀨	砂礫河原
淵	ヨシ原
ワンド	干潟
鳥類のねぐら等	樹木群
外来種の侵入	魚付林

※表のハッチングは特定外来生物を示す。

※データは河川水辺の国勢調査の植物が平成14年度、魚介類が平成16年度、底生動物が平成16年度、昆虫類が平成13年度、両生類・爬虫類・哺乳類が平成15年度、鳥類が平成17年度を記載。



1 : 20,000

県・市町村界



環境（揖斐川：45.6k～61.0k）
神戸大橋～川口橋

魚介類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
タイリクバラタナゴ		●(検討)
サカマキガイ		
アメリカザリガニ		●(検討)

底生動物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
サカマキガイ		
アメリカザリガニ		●(検討)

両生類・爬虫類・哺乳類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ヌートリア	●	

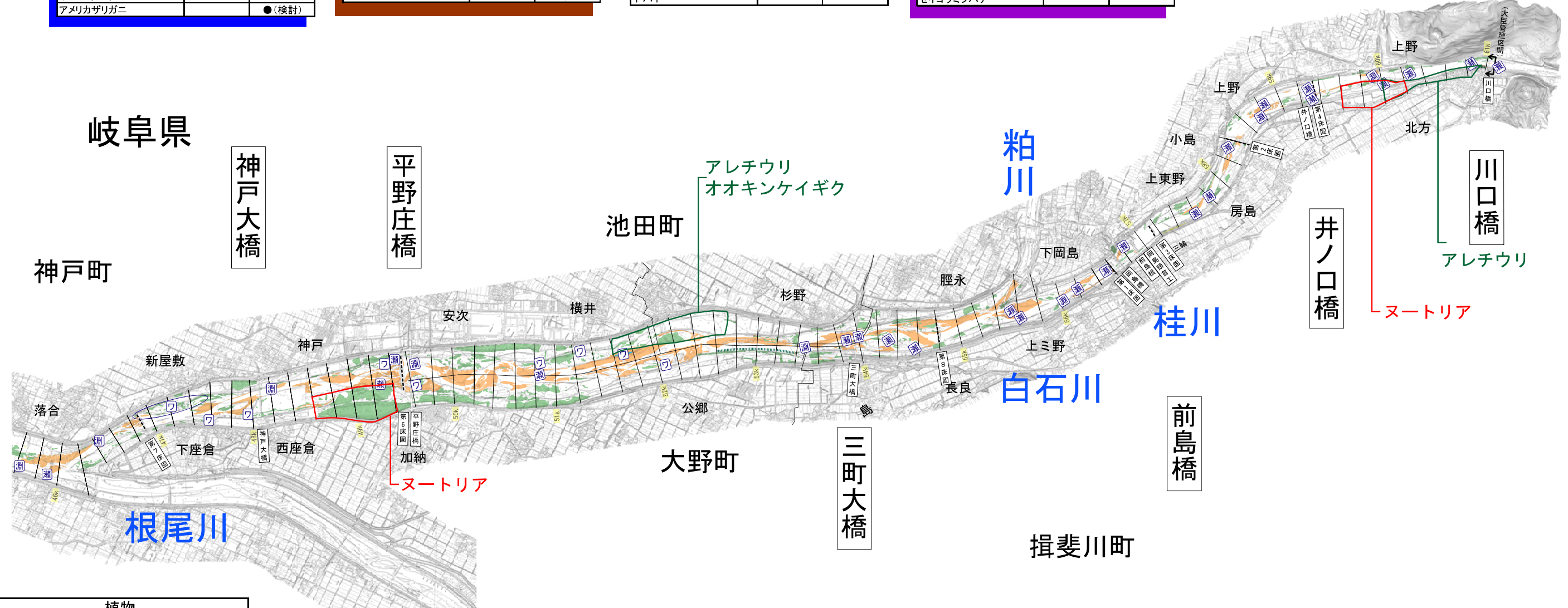
鳥類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
コジュケイ		
ドバト		

昆虫類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
カンタン		
ハナアザミウマ		
ネギアザミウマ		
ホソオアゲハ		
モンシロチョウ		
シバツトガ		
シロテンハナムグリ		
アルファルファタコソウムシ		
イネミズゾウムシ		
セイヨウミツバチ		

■河川環境の現状

自然環境

瀨	瀨	砂礫河原
淵	淵	ヨシ原
ワンド	干潟	
鳥類のねぐら等	樹木群	
外来種の侵入	魚付林	



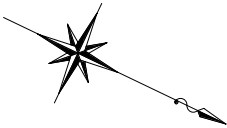
植物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
エゾノギンギシ		●(不足)
ハリエンジュ		●(総合)
ムラサキカタバミ		●(不足)
アレチウリ	●	
メマツヨイグサ		●(不足)
コマツヨイグサ		●(不足)
ワルナスビ		●(不足)
ヘラオオバコ		●(不足)
ブタクサ		●(不足)
オオブタクサ		●(検討)
アメリカセンダングサ		●(不足)
コセンダングサ		●(不足)
オオアレチノギク		●(不足)
オオキンケイギク	●	
ヒメムカシヨモギ		●(不足)
ハルジオン		●(不足)
キクイモ		●(不足)
ブタナ		●(不足)

植物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
セイタカアワダチソウ		●(検討)
ヒメジョオン		●(不足)
オオオナモミ		●(不足)
コカナダモ		●(検討)
キショウブ		●(不足)
ノハタカラクサ		●(不足)
メリケンカルカヤ		●(不足)
カモガヤ		●(総合)
シナダレスズメガヤ		●(総合)
オニウシノケグサ		●(総合)
キシウウスズメノヒエ		●(総合)
オオアワガエリ		●(総合)
メリケンガヤツリ		●(不足)

なお、外来生物法の指定以外の外来種は88種

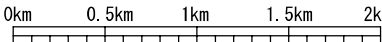
※表のハッチングは特定外来生物を示す。

※データは河川水辺の国勢調査の植物が平成14年度、魚介類が平成16年度、底生動物が平成16年度、昆虫類が平成13年度、両生類・爬虫類・哺乳類が平成15年度、鳥類が平成17年度を記載。



1 : 20, 000

— 県・市町村界



環境（杭瀬川：0.0k～8.8k）
牧田川合流点～塩田橋

魚介類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
タイリクバラタナゴ		●（検討）
ブルーギル	●	
オオクチバス（ブラックバス）	●	
カムルチー		●（不足）
スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）		
アメリカザリガニ		●（検討）

底生動物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
アメリカザリガニ		●（検討）

両生類・爬虫類・哺乳類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ウシガエル	●	
ミシシippアカミミガメ		●（検討）
ヌートリア	●	
アライグマ	●	

昆虫類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
アオマツムシ		
ヨコヅナサシガメ		
ネギアザミウマ		
ヒロヘリアオイラガ		
モンシロチョウ		
シバツトガ		
シロテンハナムグリ		
キボシカミキリ		
アルファルファタコゾウムシ		
セイヨウミツバチ		

鳥類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ドバト		

植物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
エゾノギシギシ		●（不足）
オランダガラシ		●（不足）
ムラサキカタバミ		●（不足）
アレチウリ	●	
メマツヨイグサ		●（不足）
オオフサモ	●	
ヤセウツボ		●（不足）
アメリカセンダングサ		●（不足）
コセンダングサ		●（不足）
オオアレチノギク		●（不足）
ヒメムカシヨモギ		●（不足）
ハルジオン		●（不足）
キクイモ		●（不足）
セイタカアワダチソウ		●（検討）
ヒメジョオン		●（不足）
オオオナモミ		●（不足）
オオカナダモ		●（検討）
コカナダモ		●（検討）
キシウブ		●（不足）
メリケンカルカヤ		●（不足）
シナダレスズメガヤ		●（総合）
キシウスズメノヒエ		●（総合）
メリケンガヤツリ		●（不足）
なお、外来生物法の指定以外の外来種は48種		

■河川環境の現状

自然環境

瀨

瀨

淵

淵

ワ

ワンド

鳥

鳥類のねぐら等

外

外来種の侵入

○

砂礫河原

●

ヨシ原

●

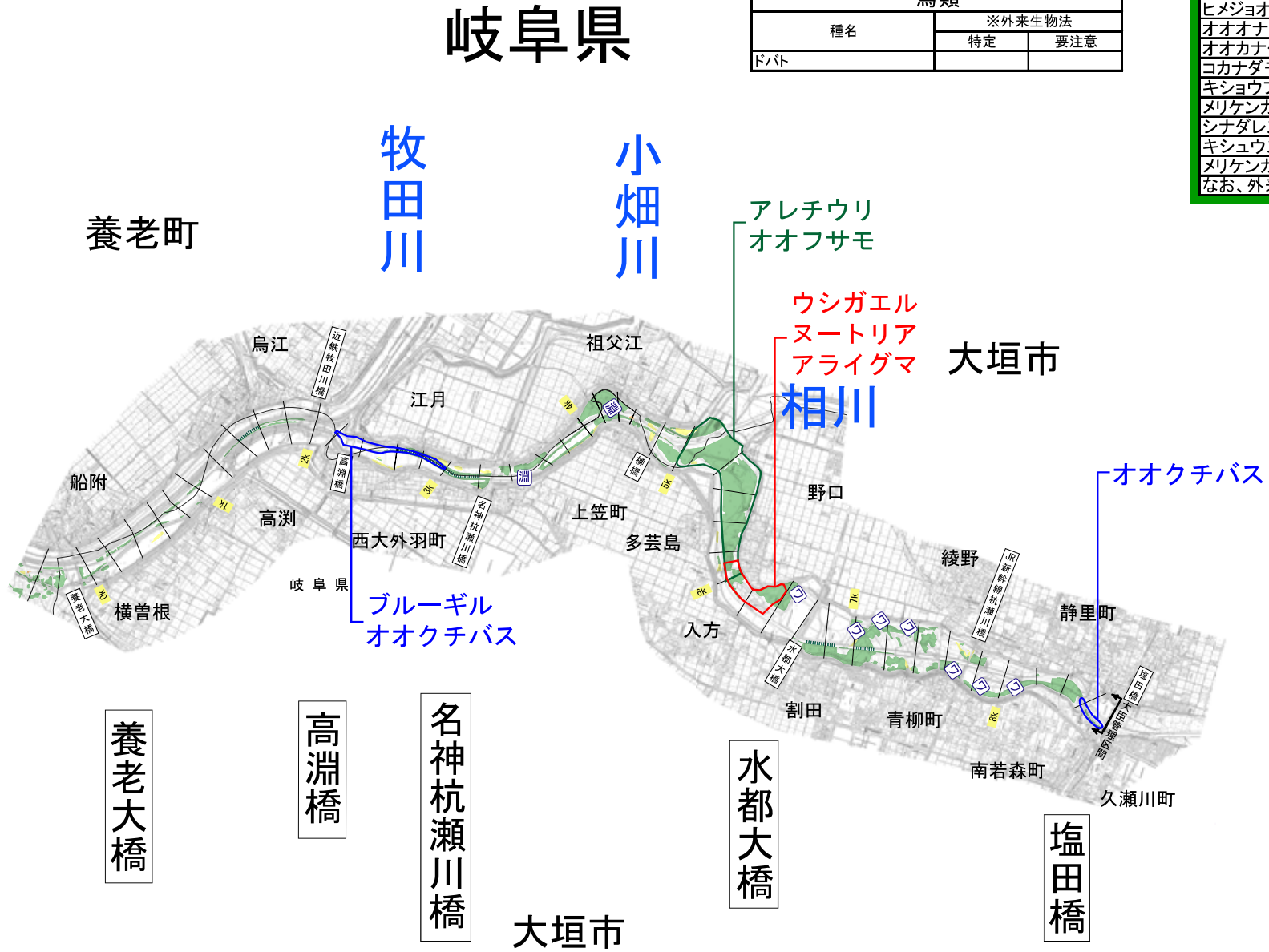
干潟

●

樹木群

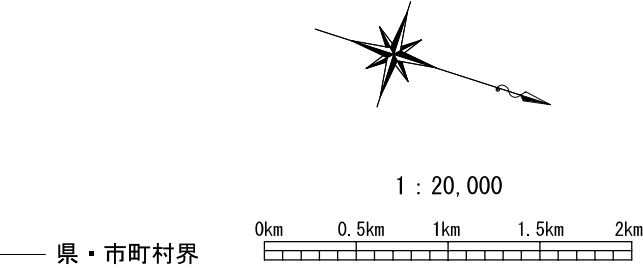
|||||

魚付林



※表のハッチングは特定外来生物を示す。

※データは河川水辺の国勢調査の植物が平成14年度、魚介類が平成16年度、底生動物が平成16年度、昆虫類が平成13年度、両生類・爬虫類・哺乳類が平成15年度、鳥類が平成17年度を記載。



環境（牧田川：0.0k～15.8k） 揖斐川合流点～広瀬橋

両生類・爬虫類・哺乳類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ウシガエル	●	
ヌートリア	●	
イノシシ（注）		

注）イノシシはイノブタとの混血の可能性もあるため記載

昆虫類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
アオマツムシ		
ハナアザミウマ		
モンシロチョウ		
シバツトガ		
シロテンハナムグリ		
セイウミツバチ		

鳥類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ドバト		

植物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
エゾノギシギシ		●（不足）
オランダガラシ		●（不足）
ムラサキカタバミ		●（不足）
イチビ		●（不足）
メマツヨイグサ		●（不足）
コマツヨイグサ		●（不足）
ヘラオオバコ		●（不足）
ブタクサ		●（不足）
オオブタクサ		●（検討）
カミツレモドキ		●（不足）
アメリカセンダングサ		●（不足）
コセンダングサ		●（不足）
オオアレチノギク		●（不足）
オオキンケイギク	●	
ヒメムカシヨモギ		●（不足）
ハルジオン		●（不足）
キクイモ		●（不足）
セイタカアワダチソウ		●（検討）
ヒメジョオン		●（不足）
オオオナモミ		●（不足）
コカナタモ		●（検討）
キシウブ		●（不足）
ノハカタカラクサ		●（不足）
メリケンカルカヤ		●（不足）
カモガヤ		●（総合）
メリケンガヤツリ		●（不足）

なお、外来生物法の指定以外の外来種は57種

河川環境の現状		
自然環境		
瀨	瀨	砂礫河原
淵	淵	ヨシ原
ワ	ワンド	干潟
鳥	鳥類のねぐら等	樹木群
外	外来種の侵入	魚付林



魚介類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
タイリクバラタナゴ		●（検討）
カダヤシ	●	
ブルーギル	●	
オオクチバス（ブラックバス）	●	
サカマキガイ		
アメリカザリガニ		●（検討）

底生動物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
サカマキガイ		
アメリカザリガニ		●（検討）

養老町

岐阜県

大垣市上石津町

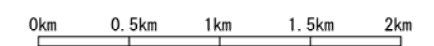
※表のハッチングは特定外来生物を示す。

※データは河川水辺の国勢調査の植物が平成14年度、魚介類が平成16年度、底生動物が平成16年度、昆虫類が平成13年度、両生類・爬虫類・哺乳類が平成15年度、鳥類が平成17年度を記載。



1 : 20,000

—— 県・市町村界



環境（根尾川：0.0k～12.0k）
揖斐川合流点～山口頭首工

魚介類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
タイリクバラタナゴ		●（検討）
オオクチバス（ブラックバス）	●	
アメリカザリガニ		●（検討）

底生動物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
サカマキガイ		

両生類・爬虫類・哺乳類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ヌートリア	●	
アライグマ	●	
イノシシ（注）		

注）イノシシはイノブタとの混血の可能性もあるため記載

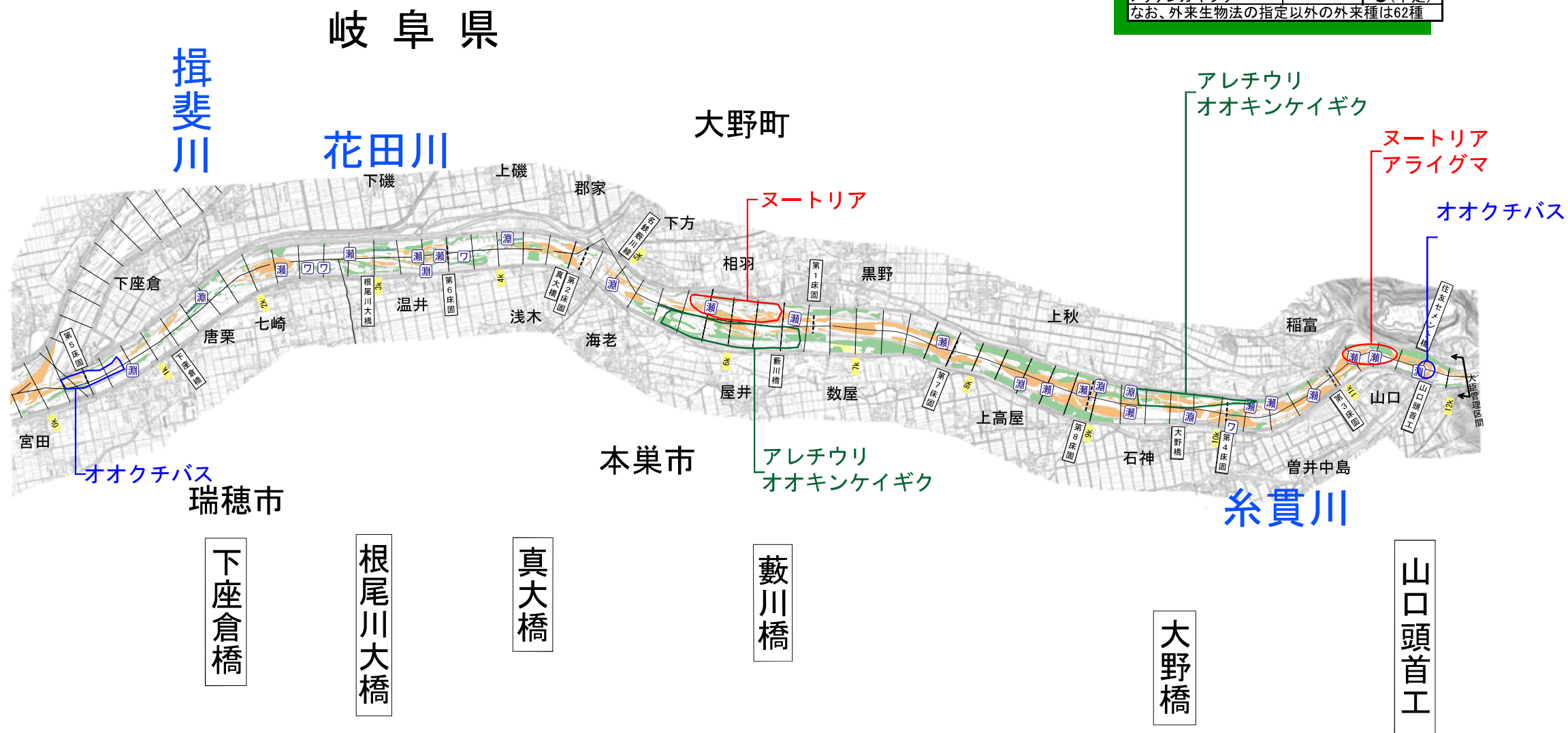
昆虫類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
イセリアカイガラムシ		
ハナアザミウマ		
モンシロチョウ		
シバツトガ		
シロテンハナムグリ		
ツシママナクボカミキリ		
エンドウゾウムシ		
アルファルファタコゾウムシ		
セイヨウミツバチ		

鳥類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ドバト		

植物		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ハリエンジュ		●（総合）
ムラサキカタバミ		●（不足）
アレチウリ	●	
メマツヨイグサ		●（不足）
コマツヨイグサ		●（不足）
ブタクサ		●（不足）
オオブタクサ		●（検討）
アメリカセンダングサ		●（不足）
コセンダングサ		●（不足）
オオアレチノギク		●（不足）
オオキンケイギク	●	
ヒメムカシヨモギ		●（不足）
ハルジオン		●（不足）
セイタカアワダチソウ		●（検討）
ヒメジョオン		●（不足）
オオオナモミ		●（不足）
コカナダモ		●（検討）
キシウブ		●（不足）
メリケンカルカヤ		●（不足）
カモガヤ		●（総合）
シナダレスズメガヤ		●（総合）
オニウシノケグサ		●（総合）
メリケンガヤツリ		●（不足）

なお、外来生物法の指定以外の外来種は62種

河川環境の現状			
自然環境			
瀨	瀨	砂礫河原	
淵	淵	ヨシ原	
ワ	ワンド	干潟	
鳥	鳥類のねぐら等	樹木群	
外	外来種の侵入	魚付林	

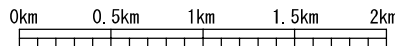


※表のハッチングは特定外来生物を示す。

※データは河川水辺の国勢調査の植物が平成14年度、魚介類が平成16年度、底生動物が平成16年度、昆虫類が平成13年度、両生類・爬虫類・哺乳類が平成15年度、鳥類が平成17年度を記載。



1 : 20,000



—— 県・市町村界

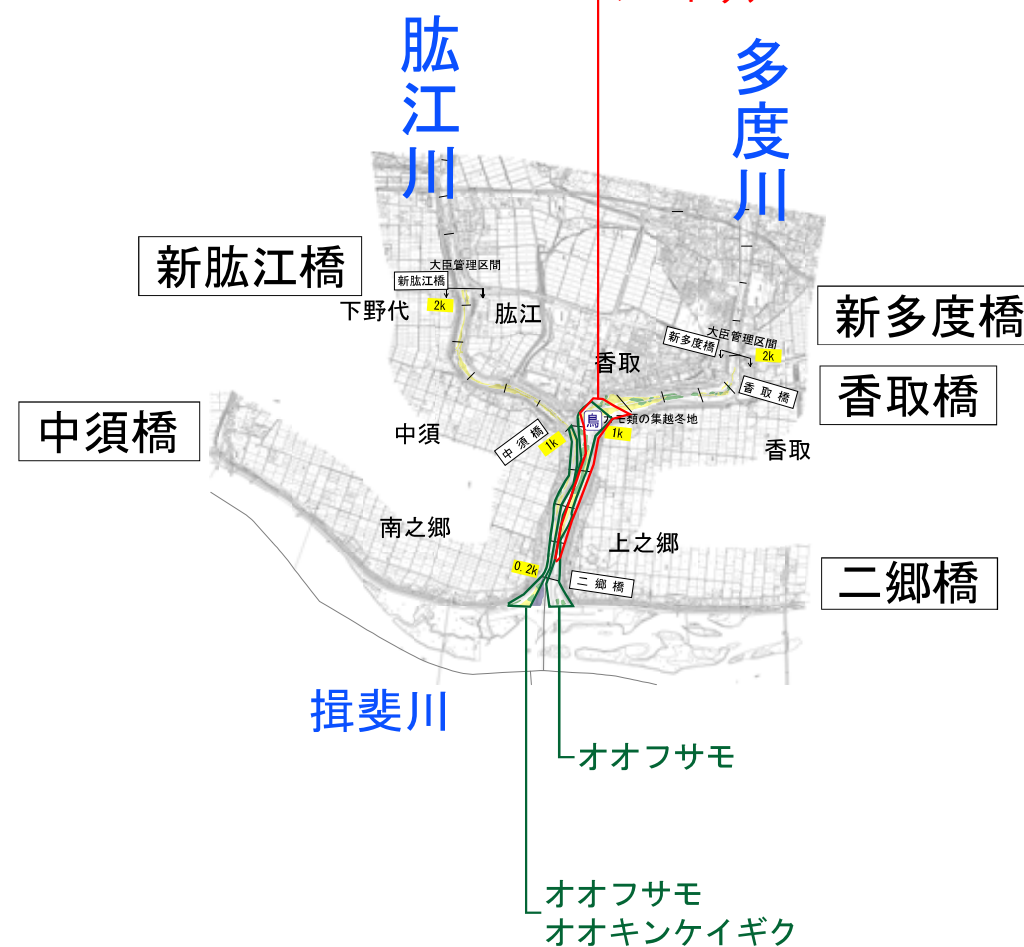
環境（多度・肱江川：0.0k～2.0k）
揖斐川合流点～新多度橋・揖斐川合流点～新肱江橋

両生類・爬虫類・哺乳類		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
ウシガエル	●	
ヌートリア	●	

三重県

桑名市多度町

ウシガエル
「ヌートリア



植物(肱江川)		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
メマツヨイグサ		●(不足)
コマツヨイグサ		●(不足)
オオフサモ	●	
ヘラオオバコ		●(不足)
アメリカセンダングサ		●(不足)
コセンダングサ		●(不足)
オオアレチノギク		●(不足)
オオキンケイギク	●	
ハルジオン		●(不足)
セイタカアワダチソウ		●(検討)
ヒメジョオン		●(不足)
シナダレスズメギヤ		●(総合)
オニウシノケグサ		●(総合)
メリケンガイヤツリ		●(不足)

なお、外来生物法の指定以外の外来種は26種

植物(多度川)		
種名	※外来生物法	
	特定	要注意
オランダガラシ		●(不足)
コマツヨイグサ		●(不足)
オオフサモ	●	
ヘラオオバコ		●(不足)
アメリカセンダングサ		●(不足)
コセンダングサ		●(不足)
ヒメムカシヨモギ		●(不足)
セイタカアワダチソウ		●検討
ヒメジョオン		●(不足)
キショウブ		●(不足)
メリケンカルカヤ		●(不足)
カモガヤ		●(総合)
シナダレスズメガヤ		●(総合)

なお、外来生物法の指定以外の外来種は35種

■河川環境の現状
 自然環境

瀬	瀬	砂礫河原
淵	淵	ヨシ原
ワ	ワンド	干潟
鳥	鳥類のねぐら等	樹木群
外	外来種の侵入	魚付林

※表のハッチングは特定外来生物を示す。

※データは河川水辺の国勢調査の植物が平成14年度、魚介類が平成16年度、底生動物が平成16年度、昆虫類が平成13年度、両生類・爬虫類・哺乳類が平成15年度、鳥類が平成17年度を記載。



1 : 20,000

— 県・市町村界

